

デイケアでどこまでできるのか — 少子高齢日本、その地域包括ケアの中で —

日本デイケア学会 第22回年次大会 大会長 稲庭 千弥子
医療法人久幸会・社会福祉法人友遊会理事長

秋田は田舎でありながら、江戸っ子気質のええ格好しいであり新し物好きです。だからこそ先駆的な取り組みも多く、地域包括ケアでは特区利用したものもあります。「デイケアでどこまでできるのか」秋田で昨今検討され取り組まれている話題提供と共に、少子高齢日本の中で、そして社会保障費の削減が言われている中でどのようにできるか検討の場を提供したいと考えています。

秋田音頭から

ハイ キタカサッサ コイサッサ コイナー コラ い
ずれこれより御免なこうむり

音頭の無駄を言う アーソレソレ 当たり障りもあろうけ
れども サッサと出しかける ハイ キタカサッサ コ
イサッサ コイナー

秋田名物 八森鱒々(ハタハタ) 男鹿で男鹿ブリコ 能
代春慶 桧山納豆 大館曲わっぱ 太平山から 四方
の景色を 覗いて見たならば 船は沢山 大漁万作
秋田は大繁盛

秋田の国では 雨が降っても 唐傘などいらぬ
手頃な落の葉 さりとさしかけ サッサと出て行かえ

秋田よいとこ 名物たくさん 東北一番だ

金山木山に 花咲く公園 美人が舞い踊る 秋田の女
ご 何してきれいだと 聞くだけ野暮だんす 小野小町
の 生まれ在所 おめはん知らねのげ

何につけでも 一杯呑まねば 物事はかどらね 呑め
ば呑むほど 気持ちコ開けて 踊りコなど出はる 秋田

名物 コの字づくしを つまんで言うならば 坊ッコにガ
ッコ 笠コに小皿コ 酢ッコに醤油ッコ

時勢はどうでも 世間は何でも 踊りコ踊らんせ 日本
開闢(かいびやく) 天の岩戸も 踊りで夜が明けた
今だばええども 春先などだば 雀コ巢コかける 嬢は
お多福 女中は床拭く 目腐れまなく拭ぐ 鉾山山師は
大きなホラ吹く 聞く人泡を吹く

新婚当時は 優しいもんだよ 花チャン御飯まだ 二、
三年もしまえば ガラッと変わって お多福酒買ってけ
秋田の名所 海では男鹿島 山では鳥海山 田沢の
緑に 十和田の紅葉 絵描きも筆投げた

秋田県内の一円で歌い踊られる遊び唄です。地口音
頭、仙北音頭、トル音頭とも言われ、二代目藩主佐竹義
隆(1609～1671)に上覧の際、家臣が柔術の手を加味
したのに始まり、御国音頭と呼ばれました。三味線、笛、
太鼓、摺鉦(すりがね)を伴奏に社会風刺や滑稽な表
現の地口を軽妙に展開させ、西馬音内の盆踊りや角館祭
礼の棧敷踊にも歌われ、秋田音頭の名で全国的に知れ
わたっています。

秋田良いとこ一度はおいで!

紅葉・温泉・収穫の秋が皆様をお待ちしております。

日本デイケア学会第 21 回年次大会 金沢大会を終えて

日本デイケア学会 第 21 回年次大会 大会長 松原 三郎
社会医療法人財団松原愛育会松原病院理事長

日本デイケア学会第 21 回年次大会金沢大会は平成 28 年 10 月 13、14 日に金沢歌劇座で開催されました。石川県での開催は、平成 15 年 9 月の第 8 回年次大会以来で 13 年振りとなりました。第 19 回東京大会、第 20 回大阪大会と大都市での大会が続き、金沢大会に多くのご参加をいただけるかどうか心配しておりましたが、参加者数は 644 名と盛況のうちに無事に終えることができました。

本大会のテーマは、「地域に選ばれ地域と生きるデイケア～未来にかがやきを～」とし、大会一日目は、特別講演を「未来のデイケアの役割を探る」と題して五十嵐良雄先生にご講演いただき、引き続きシンポジウムⅠ「これからの精神科デイケアに求められるもの」、Ⅱ「これからのリワークプログラム」、Ⅲ「若者のためのデイケアの有効性について」が行われ、池淵恵美先生より「デイケアは誰のものかーリカバリー支援ー」として教育講演Ⅰがありました。いずれもデイケアの現状と今後について理解が深まる内容でした。市民公開講座の前金沢市長山出保氏の「金沢の文化とところ」は、金沢の文化や産業が昔から受け継がれ今の金沢を形成していることがよくわかり、県外の方にとっても、石川県民にとっても、興味深い内容でした。懇親会には 130 名が参加し、情報交換のほか、伝統芸能金沢芸妓の披露もあり盛会となりました。

また、二日間にわたって行われた分科会では口演発表 85 題、ポスター発表 33 題が発表され、各会場は活気に溢れ、意見交換がなされていました。

大会二日目は、教育講演Ⅱ「デイケアにおける発達障

害を抱えた人への対応」宇佐美政英先生、教育講演Ⅲ「認知症ケアにおけるパーソン・センタード・ケアについて」水野裕先生があり、シンポジウムは、Ⅳ「リカバリー概念に基づいたデイケア～理念と方法論を考える～」、Ⅴ「認知症デイケアの機能を見直す～地域で認知症高齢者を支えるために～」、大会長企画シンポジウム「地域で支える精神保健医療の多様性」、緊急企画シンポジウム「精神科デイケアに期待するもの～平成 28 年診療報酬改定が目指している方向性を問う～」と盛りだくさんで、参加した方々にとって、精神障害の人達を地域で如何に支えるかといった問題を検討し、デイ・ケアの持つ役割をもう一度見直し、精神障害の人達がどうすれば地域の中でいきいきと生活できるかを考える機会となったのではないかと思います。

最後に、今大会にご参加くださった皆様、開催に向けてご支援、ご協力くださったすべての方々々に心よりお礼申し上げます。

日本デイケア学会 第22回年次大会秋田大会のご案内

大会テーマ

デイケアでどこまでできるのか ～地域包括ケアの中で～

大会長

稲庭 千弥子 (医療法人久幸会今村病院理事長・
社会福祉法人友遊会理事長)

会期

2017年 10月 21日 (土) ～ 10月 22日 (日)

会場

秋田キャッスルホテル (秋田市中通1-3-5)

演題募集について

・デイケアに関する演題を広く募集いたします。
募集期間: 2017年4月17日(月)～5月22日(月)
募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。

事前参加登録について

・登録期間: 2017年4月17日(月)～8月31日(木)
詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。
また、会期当日から週末にかけては市内の宿泊施設の混雑が予想されます。
ご自身での確保を予定されている場合は、お早めの予約をお勧めします。

懇親会について

・日時: 2017年10月21日(土) 18:30～20:30
・会場: 秋田キャッスルホテル 4階「放光の間」
・参加費: 5,000円 ※大会参加と一緒に申し込みください。

学会主催研修会

年次大会終了後、研修会を実施いたします。
年次大会の参加とは別に、お申し込みが必要となります。
※詳細はホームページにて順次掲載します。
お問合せ先: 日本デイケア学会事務局
TEL: 03-3813-6368 FAX: 03-3813-6368

研修単位の
認定について

・本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。

連絡先 【大会事務局】

医療法人久幸会 今村病院
〒010-0146 秋田県秋田市下新城野字琵琶沼124-1
TEL: 018-873-5188 FAX: 018-873-3828
E-mail: admin@kyukokai.com

【運営事務局】

東武トップツアーズ 秋田支店
〒010-0951 秋田県秋田市山王2-1-40 田口ビル1F
TEL: 018-866-0109 FAX: 018-866-0177

日本デイケア学会入会のお願い

日本デイケア学会理事長 原 敬造

日本デイケア学会（以下、学会）は1998年に設立されました。初代の理事長には、故加藤正明先生が就任されました。加藤先生は、1958年に千葉県市川市の国立精神衛生研究所で精神科デイケアを始められました。

当学会の目的は、デイケアの発展と向上、学術研究や会員の相互交流の促進です。当学会では、精神疾患（高齢者を含む）に罹患した方のリハビリテーションとして、デイケアの実践的な研究や効果についての調査研究を行っています。また高齢者の領域では、認知症の方のデイケアやデイサービス、地域ケアについての実践的研究と研修を行っております。年に一度大会を開催し、デイケアに携わる多職種スタッフの相互学習を重ねています。現在の会員数は900名を超えています。

国が「入院医療中心から地域生活中心へ」と精神科医療の方向性を示すなか、地域生活でデイケアの果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。地域にまだ

に差別と偏見があり、精神疾患を患っている方が、地域でオープンに利用できる場が少ないのが現状です。そうした中で、デイケアは仲間のいる安心できる場として、またお互いの成長を促す場として機能します。また病状の変化にも対処可能な場としてデイケアは機能しています。

デイケア利用の理由は様々で、利用者はそれぞれの目指す社会参加に向け最初の一步を踏み出します。集団から離れていた方にとって、デイケアは刺激の大きなものです。そこは社会の縮図であり、様々な問題に直面します。そうした過程を家族やスタッフとともに経験し、デイケアを通じてメンバーの希望する社会参加の実現が可能となります。

デイケアにかかわる皆さまが当学会に加入されることをお願いします。

オープンな議論を重ね、皆さまの力によって、利用者にとってより良いデイケアになることを期待しています。

金沢大会印象記

デイケア学会への参加がもたらしてくれたこと

加藤 優

私は現在デイケアに従事して2年目ですが、今回初めてデイケア学会に参加し、大変多くの刺激を受ける機会となりました。学会では、「地域に選ばれ地域と生きるデイケア」をテーマに、「未来のデイケアの役割」、「リハビリ概念に基づいたデイケア」、「地域で支える仕組み」など、様々な視点での発表を聞くことができました。発表を通して、地域の社会資源が増えている中で、デイケアが地域に選ばれるために必要なことを何度も考えました。現在の通所メンバーについて考えることはもちろんですが、他にも、地域の現状や地域の方々の声に耳を傾け、地域で求められている支援・体制を考え、自分の

地域ならではの、デイケアの機能を確立していく必要性を感じました。

同じ悩み、困り事を抱える機関の発表もあり、工夫を重ねた実践を聞くことで、私自身勇気づけられました。学会に参加することは、研究発表を聞けることはもちろん、それ以外にも日常から少し離れ、客観的に自分の仕事、自分の機関の役割を振り返る機会になりました。新しい知見を得ることもできる一方で、時には自分の取り組んでいることを肯定してもらい、エンパワメントされた感覚も抱きました。また、2日間通して、様々な支援者の方々の考え方や態度に触れることで、精神保健福祉に携わる

支援者としての、必要な価値観や態度についても、改めて見直し考えることにつながりました。今回得たことを今後のデイケアでの実践、メンバーのサポート、地域支援に活かしていきたいと考えています。

最後に、ご多忙の中、大会運営にご尽力くださった皆様、大変貴重な機会をいただきありがとうございました。
(仙台市精神保健福祉総合センター・臨床心理士)

金沢大会印象記

第21回年次大会金沢大会印象記

荒田 稔

デイケア学会第21年次大会は、第8回年次大会以来、13年ぶりの石川県開催でした。全国から約650名の参加者を迎えることができ大変に嬉しく感謝しています。

また、「精神科デイケアにおけるグループミーティングの取り組み」の口演発表の機会をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

全国のデイケアは、人口規模、地域の条件、施設規模、理念等によって種々多様な形態と機能の中、「通過型・居場所型」「友人や仲間集団を作ること」「学齢期に得られなかった対人交流での役割を果たす経験・体験をすること」「発達促進的側面を持っていること」「医療の一環としてのリハビリテーションであること」「多職種協働スタッフによる集団によるケア」「利用者の健康管理」等を掲げて実施されていることを身近に感じました。

共通していることは、小集団でのプログラムを通しての

対人関係の学びであり、病気の回復を担っています。人間は生まれた時、母親との出会いから父親、兄弟姉妹等の家族集団と地域社会の集団の中で育ち、世代交代をして生の営みをしています。不幸にして病気や生活の中での挫折によって生活が困難になることは、誰もが経験・体験することです。そこからの回復に意図的な治療・支援・援助の一つとしてグループワークの方法があげられます。グループワークにおける多職種の専門職と利用者の相互の交流は、親しい人や仲間集団からの支えや癒しを通して自分なりの営みを見出していく回復過程が見えます。グループワークの方法がより用いられることを願いたいものです。

(医療法人 澄鈴会 粟津神経サナトリウム・精神保健福祉士)

金沢大会印象記

はじめてのデイケア学会参加を通して

笹川 裕蔵

私は精神科に勤め始めて、7ヶ月と経験が浅い作業療法士です。今回初めてデイケア学会に参加させて頂きました。去年に北陸新幹線の開かれて以来、注目を集めている金沢での大会ということで、期待に胸を膨らませておりました。

シンポジウムIの「これからの精神科デイケアに求められるもの」は大変印象に残っております。なぜなら、今年にあった診療報酬の改正により、デイケアのあり方とい

うものを、現場で働いている私達一人ひとりが考えなければならぬ分岐点に来ていると日々感じているからです。

今後デイケアへの締め付けは起こるであろうと思います。しかし、それを前向きに考えれば、このデイケア変遷の時代に関わっていることは貴重な経験であると考えられます。今回の学会を聞いて、デイケアは今後より重度の当事者や長期入院している当事者の方を、どのように受

け入れていくかが課題になるのではないかと感じました。

しかし、この課題については、地域にて今まで以上に他施設と連携していくかが重要ではないかと考えます。

来年の秋田大会はもちろんの事、再来年は地元千葉での開催となります。地元での開催に向けての意気込みもありますが、発表を通して言語化していく事の重要で

あると感じます。今後より多くの方、特に若い世代の人たちにもどんどん学会に参加して頂き、意見交換はもとより、よりお互いを刺激して行けるような学会になって欲しいと思っております。私自身もその一員として、私も学会を通して学び成長していきたいです。

(医療法人社団 宙麦会 ひだクリニック・作業療法士)

デイケア 西から東から、北から南から…

ひとりひとりが輝ける場に

辻岡 絵美

医療法人敦賀温泉病院重度認知症デイケアサンデーは、福井県敦賀市にある医療法人敦賀温泉病院内にあります。敦賀温泉病院は精神科、歯科、内科、リハビリテーション科があり、認知症治療病棟 51 床、精神科療養病棟 54 床で構成された病院です。

デイケアサンデーは 2 単位 50 名を定員としており、スタッフは、医師、看護師、作業療法士、ケアワーカー、精神保健福祉士、言語聴覚士、臨床心理士、音楽療法士等、多職種で運営しています。認知症に対しての専門医による診察や、鑑別診断、薬物療法や作業療法士による生活機能訓練などの治療や予防、かかりつけ医や介護サービス事業者や保健機関との連携、ご利用者様家族からの認知症に関する医療相談を行っています。また、様々なリハビリテーションやレクリエーションを通して、精神症状や問題行動が著しい認知症者に対し、機能評価をしています。定期的にデイケアを利用して頂くことで、現在の認知機能や ADL の状態を維持し、徘徊などの周辺症状の悪化を予防しています。症状に変化が見られた場合は、早急に対応しています。

デイケアの活動をするなかで、以前は認知症であるご本人様よりもご家族様の支援をどうしていくかということに重点をおきがちでしたが、現在はスタッフ全員がご利

用者様の「自立支援」を基本の考えとし、活動しています。朝の体操の音頭を取る、お茶くみ、テーブル拭き、ほうきを使った掃除等、何気ない日常の生活動作を盛り込んだ活動を提供しています。

最近、「何かやることはないか」と自ら申し出てこられる方が増え、デイケア内に活気が出てきました。いきいきと活動される姿にスタッフも元気をもらっています。役割を持つことで、帰宅欲求や徘徊などの減少にもつながっています。また、デイケアでの状況をご家族様に伝えることで喜んで頂いています。今年度は勤労感謝の日に合わせて、ご利用者様全員に活動しているときの写真を添えた感謝状を進呈し、大変ご好評いただきました。サービスを提供するという視点ではなく、ご利用者様自身が持つ力や能力を発揮でき、役割や生きがいを持って生活するための取り組みを今後も続けていきたいと思えます。また、地域に向けて認知症についての普及や啓発を行い、デイケア内だけではなく、地域でもいきいきと輝ける場所を作っていけるよう尽力していきます。

(医療法人敦賀温泉病院 重度認知症デイケア「サンデー」・精神保健福祉士)

希望ヶ丘ホスピタル デイケアの紹介

太田 正博

当院は、岡山県北部の津山市にあり、県庁所在地から車で1時間半ほど離れた盆地に位置しています。通院圏の人口はおよそ15万人で精神科病院が3つありますが、エリアは広く大半は山間部で交通の便も悪いため病院へのアクセスには非常に時間がかかります。

歴史的には、民間の精神科病院が多く開設された時期よりも早く、S24年に「高見病院」として開院しました。病院理念を、『訪れる人には安らぎを 留まる人には愛を 去る人には希望を』と掲げ、開設当初から地域精神医療を地域に根づかせる取り組みに尽力してきました。また、H13年の病院名変更では、「希望の丘病院」という当事者の意見と、単なる人を收容する箱ではなく「hospitality（人を手厚くもてなす）」の語感に魅せられて「希望ヶ丘ホスピタル」と改名しました。

H27年には、患者さんの地域生活をより充実させるために、地域連携の部署（精神保健福祉士）を中心に、訪問看護、相談支援事業所、就労継続支援事業所、居宅介護支援事業所、そして精神科デイケアをひとつ屋根の下に集約して連携を強化し、「地域ケアセンター」として地域でのケアの拠点を作りました。

当院の精神科デイケアはS56年に開設され、現在の一日平均利用者数は27～29名です。デイケア登録者の傾向としては、年齢別では30歳代までの若年層(39%)が、診断名別では発達障害(23%)や神経症(15%)の割合が増加しています。年齢、診断名ともに幅が広く様々なニーズに対応することが求められる状況の中で、日常生活訓練やレクリエーションなど従来のプログラムを確保する一方で、コミュニケーション力の向上や就労準備に重点

をおいたプログラムに力を入れています。部署の枠を超えた多職種の協力を得ることで、メンバーの目標に応じた選択ができるよう同一時間帯に複数のプログラムを実施しています。

今後の課題としては、①交通の便が悪い中でも必要に応じた通所が継続できる送迎体制の構築、②病院全体での強化目標となっている、発達障害、依存症、認知症における専門性の向上、③メンバーのリカバリーを念頭においた関わりやプログラムの実施、④近隣地域に未だ浸透していないピアサポートをリードしていくことなどがあげられます。

デイケアに通所するひとりひとりのメンバーが、将来の自分のなりたい姿を発見し、その実現につながる力身につけ、地域でより自分らしく生活していくお手伝いを進めていきたいと思います。

(社会医療法人 高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル・看護師)

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年 月 日
----	--	----	-----	------	----------	-------

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別	TEL	()	FAX	()
----	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ